

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

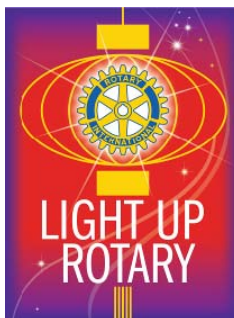
第2660地区
大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL:072-875-1200
FAX:072-875-0590
E-mail:office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分~1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL:072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



創立 1967年12月26日

- 会長 高島 登
- 幹事 大東 弘
- 会報委員長 東野 喜次

大東ロータリー会長テーマ

「LIGHT UP DAITO 地域とともに輝きを」

2014年~2015年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

国際ロータリー会長
ゲイリー C.K. ホアン

平成26年9月2日

No.2262

H25.8.26 (No.2261 の例会記録)

今週の卓話 (9月2日)

「新世代のための月間に因んで」

橋本 正幸 青少年奉仕委員長

次週の予定 (9月9日)

「大東インターアクト創立38周年に因んで」

空門 満也 インターアクト委員長

先週の例会報告

◆ 出席報告 (8月26日分)

会員数 40名 出席数 32名 欠席者 4名

特定免除 4名 その他免除 0名

出席率 88.89%

前々回8月5日分

ホームクラブの出席者 27名 75.00%

メイクアップの結果 36名

特定免除 4名 その他免除 0名

欠席者 0名 修正出席率 100.00%

ゲストスピーカー

フィール 代表 谷口 浩子氏

今月のテーマ

「新世代のための月間」

ロータリーソング

「大東ロータリーソング」「四つのテスト体操」

ニコニコ箱

裏面に記載



昨日甲子園球場にて第 96 回全国高校野球選手権大会決勝戦が行われました、初優勝を目指した三重高校を破り見事大阪桐蔭が 2 年ぶり 4 度目の優勝を果たしました、我が大東ロータリークラブには大阪桐蔭中学校高等学校教育相談役の森山会員が居られ、大阪桐蔭インターアクトクラブを提唱しています、又大阪桐蔭の校歌は我がクラブの大川会員が作曲されました、今回優勝迄 6 回作曲家として大川会員の名前が全国放送されました、そんな縁ある地元校が優勝し大変嬉しく誇りに思います、大阪桐蔭の皆様優勝おめでとう御座います。



甲子園では嬉しいニュースが有りましたが広島県では大規模な土砂災害が発生し多数の犠牲者が出ています、一日も早い復旧を願うばかりです。大東市に於いても約 3 分の 1 が市街化調整区域の山林になっており、生駒山の山頂付近迄続いています。昭和 40 年代 50 年代に宅地開発がブームとなり全国的に開発が進められました。しかし今後人口の減少、都市部での居住等生活スタイルは大きく変わろうとしています。最近毎日何処かで「大雨警報」「観測史上最大」のテロップがテレビで流れます、生活スタイルが変わり気象状況があきらかに変わってきています。自分も住宅関係の仕事に携わる者としてこれからの街造りに対してロータリークラブの職業奉仕の気持ちを持って取り組んでいきたいと思えます。





委員会報告

◎ニコニコ箱

- ・入会記念日 自祝
- ・大阪桐蔭優勝おめでとうございます
- ・大阪桐蔭優勝おめでとうございます
- ・大阪桐蔭高校の栄誉を称えて
甲子園球場に校歌 6 回鳴り響きました 森山先生おめでとう
加藤さんありがとう 自祝
- ・甲子園優勝 感謝
- ・大阪桐蔭高校優勝おめでとうございます
- ・木田先生大変お世話になりました 感謝
- ・大阪桐蔭高校全国制覇バンザイ
- ・前回休会しました 申し訳ございません
- ・嫁と温泉でおいしいものを食べて来ました
- ・大阪桐蔭 甲子園優勝おめでとうございます
- ・会社の夏祭りイベントで 大盛況に終える事が出来ました 感謝！！
- ・高島会長 ありがとうございます 感謝
- ・大阪桐蔭 甲子園優勝おめでとうございます
- ・昨日（読売カントリー貸し切り）ゴルフ甲子園参加して来ました

間 紀夫 委員長

藤本 和俊 君

高島 登 君

大東 弘 君

大川 真一郎君

森山 信一 君

藤本 和俊 君

堀部 邦夫 君

小川 芳男 君

大矢 克巳 君

木村 克己 君

中野 秀一 君

東村 正剛 君

中嶋 啓文 君

間 紀夫 君

東野 喜次 君

『清雲寺のしだれ桜』

●日本の桜百選 5



山梨県北杜市武川町山高

秩父・荒川村にある清雲寺（せいいうんじ）のしだれ桜は寺の開祖が植えたと言えられる樹齢数百年にもなるエドヒガンザクラだ。樹高15メートル、目通り2.7メートルという。埼玉県の天然記念物に指定されたのが、今この桜は衰退期に入っている。それでもまだまだかなり見ごたえはあるのだが、この寺には他に2、30本のしだれ桜が植えられていて、古木に属するものが数本あり、中でも本堂を囲むようにめぐっている堀のすぐ傍（そば）から霞がかかったピンクの枝を大きく外に広げている1本は見事で、観光客もこちらが主役の木と思っているほどだ。





◎ロータリー財団委員会

杉原 巨峰 委員長

地区の方からロータリー財団の補助金による奨学生候補者募集の案内が届いております。

週報（8/26）と例会場後にポスターを掲げさせて頂いております。

当クラブにおきましても、2年前に宮尾真梨子さんが地区のこのグローバル補助金を利用してアメリカに派遣奨学生としてお送りさせて頂いており、私の方も見送るまでのプロセスを経験しております。

会員皆様のお知り合いの中でご興味のある方、是非挑戦してみたいと思われる若い人材がおられましたら、ご紹介して頂ければと思います。よろしくお願い致します。

◎青少年奉仕委員会

橋本 正幸 委員長

9月2日（火）例会終了後、まんま家さんに於いて青少年奉仕委員会の情報集会を行いたいと思います。

青少年の健全育成といいますとスポーツのイメージがありますが、それ以外に何かあるのかという事を皆さんに問いかけながら、今後の青少年はどうあるべきなのかという事を含めて情報集会の中に盛り込んでいきたいと思いますのでご出席の程よろしく申し上げます。

また、9月7日（日）は少年野球大会の開会式が9時からございます。是非参加の程よろしく申し上げます。

日時：9月7日（日）

集合 8：45 開始 9：00

場所：大東公園





◎国際奉仕委員会

木村 克己 委員長

第 106 回の国際大会が 2015 年 6 月 6～9 まで 4 日間開催されます。場所はブラジルのサンパウロでございます。

本年の 12 月 15 日までに登録をすれば割引料金となるようです。もし参加ご希望の会員の方は私の方までご一報いただけましたら、詳細のご案内をさせていただきます。

◎ゴルフ同好会

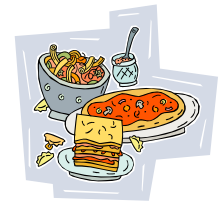
田川 和見 キャプテン

2014-15 年度 第 1 回ゴルフコンペが 9 月 10 日にタラオカントリークラブでございます。まだ、2 名ほど空きもございますのでご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

◎グルメ同好会

2014-2015 グルメ会が 8 月 28 日にあります。参加者 18 人です。

当日よろしくお願ひします。



『慈雲寺の糸桜』

●日本の桜百選 6



山梨県塩山市中萩原

樹齡 300 年の一本の枝垂れ桜。本堂に降りかかる花吹雪も風情あるが、振り返れば斜面の先、勝沼、一宮方向に広がるモモの花畑を一望する。陶淵明の「桃花源記」に描かれるユートピア、桃源郷はまさにこんな風なのかも知れないと思えてくる。





「 「言葉の力」 ことだまで環境が変わる！ 」

担当 東村 正剛 会員

ゲストスピーカー フィール 代表 谷口 浩子氏



皆さんこんにちは、愛のことだまメッセンジャー ひろぴーこと、谷口浩子と申します。男性ばかりの前でお話しさせて頂くのは初めてですのでとても緊張しております。今、作品を書かせて頂きましたがこのような文字を書かせて頂いております。今日のテーマ、言葉の力「ことだまの力で環境が変わる」という話をさせていただきます。

もともとこういった文字を書いていたわけではなく、私自身、字が下手でずっとコンプレックスがあった一人です。学生時代も字が下手で嫌な思いもして来ましたが、社会に出まして迷惑をかける事も多々ありました。それと合わせて実はどもりの赤面症で人前でしゃべるのがとても苦手だったんです。こうして人前で話すようになったという事は昔の私を知ってる人からするととても想像のつかない事なんですが、今筆文字（「ひろぴーフォント」という名前をつけさせて頂いております）の講座を関西そして全国でさせて頂いております。それと並行してさせて頂いている活動をご紹介します。

皆さん、みやざき中央新聞をご存知でしょうか？みやざきと名前のついた全国紙なんです。この新聞の趣旨は、このような1枚の紙ですが表裏にいい事しか書かないという新聞で、全国に1週間に1度送られてる新聞なんです。こちらの1月1日の元旦号、テーマはダライ・ラマ14世の言葉、その言葉のこちらの所に私の筆文字が掲載されました。受講生から言われてたのがダライ・ラマ14世が私の筆文字を拝んでいるように見るとそのように言われまして、裏をみますと同じく言葉が書かれています。ダライ・ラマ14世が私の文字に見惚れているということで私としましては思い出に残る新聞になりました。これがきっかけでみやざき中央新聞のタイトル見出しに今私の筆文字が使われております。

そして、もう一つ大阪八尾発祥の旨辛味噌でからから味噌という商品のロゴを書かせて頂いております。ということで、筆文字を教えるという活動と商品または筆文字を書くという活動を並行してさせて頂いております。

実際、いつからこのような事をしてるかといいますと、先ほど字が下手だという話





をさせて頂きましたが、たまたまフェイスブックのご縁である方と出会いまして、筆文字を見たのがきっかけなんです。先ほど申し上げたように私は人前で話すのが苦手、学生時代ほとんど友達としゃべる事も無く、家に引きこもりのような学生時代、自分の思いを自分の言葉で伝えるという事がなかなか出来ない子供時代を過ごしておりました。では一人でいるのが好きだったのかと言いますとそうではなく寂しくて辛かったんです。しかし、その辛いという気持ちを親にも伝えることも出来ずそのまま社会に出ました。そして、OL時代に人間関係で自分の思いを伝えれないという事でトラブルになりまして、違う意味の対人関係の恐怖症、またうつに近い状態になりました。そんな時私を救ってくれたのが、あいだみつをさんの「人間なもの」という本、カレンダーの言葉との出会いが私の人生を救ってくれました。当時私の家にはこのような筆文字というのが家中に飾られていました。先ほど書かせて頂いた「花の咲かない寒い日は下へ下へと根をのばせやがて大きな花が咲く」という言葉もあいだみつをさんの言葉です。そんな言葉を見るたびに元気になったり、勇気を頂いたり、本当に言葉に支えられました。これが私と言葉の出会いなんです。

50歳になった時に筆文字を知りまして、筆文字が書けたらいいな、でも字の汚い私には出来ないと思っていたんです。でも、どうしてもやってみたく、字が上手になりたいという一心で、一生懸命筆文字を書いているうちに、どんどんとはまってしまいました。そんな時にその筆文字を欲しいと言われるようになりまして、あげますと有難うと言われるはじめました。有難うと言われるととても嬉しくなり、気がつくとう字が上手になりたいと思って始めた筆文字が人に喜んでもらうために文字を書くというスタンスが変わってしまいました。気がつくとうたくさんの方に筆文字をあげるような生活が始まったんです。

今52歳で筆文字と出会って2年とちょっとなんですけども、この中で多くの方と筆文字を通して出会いました。書いていくごとに新しい出会いが広がったのが一つと、筆文字をすることで有難うという輪が広がり始めたんです。当時ある方に聞いたのは千の中に神が宿るという言葉を聞きました。そこで、筆文字を千枚人にプレゼントしよう決めまして「笑う門には福来る」という言葉を書きプレゼントし始めました。それが平成24年の私の夏からのスタートです。そして千枚達成した時に筆文字を教えるという依頼が来たんです。その依頼が来たのが平成25年1月、それを一つのきっかけとして、なにか社会に貢献出来る事がしたい、人に喜ばれる事をしたいという思いで、第1回の講座をしたのが大東の駅前のアクロスという場所です。しかし第1回目は人に来てくださいという思いが言えず、恥ずかしくて誰にも声をかけていなかったのが人が集まらなかったんです。でもたまたま1名の方からお電話を頂きましてその1名の方と私と1対1で行いましたのが私の第1回目の筆文字講座でした。それをかわきりに少しずつ少しずつ広がり、今では講座110回を超えまして受講生数1400人を突破いたしました。今は、北海道から関東そして、東海、中部、中国、四国、九州、来月には東北に行きますので全エリアをまわらせて頂くこととなります。そんな





中で、筆文字をお伝えするようになって、自分自身が変わったのも一つなんです、それを通してたくさんの方が変化していくのを目の当たりにする様になったんです。

皆さんが講座を受けられる一つの理由として、人に喜ばれることをしたい、なにかお役に立つことをしたいという思いで筆文字を書き始められます。実は私の筆文字は通常書き方とは違うんです。文章の終わりから文字を書いて行きます。おそらく皆様方が文章の終わりから文字を書くという事はされることは無いと思うんですが、今までの自分と違うことをすることによって右脳が開くということを知ったんです。知らず知らずに身についたこうでなければならぬという考え方の枠の外れたところで書き始める事によって、新しい発想がどんどんと広がるようになったんです。こんな事してみたい、あんな事してみたいなど講座を受けられた多くの方が、多くの事にチャレンジするようになったんです。それが私が講座を受けられた方々から気づかせて頂いた感想です。多くの方が、一つのハガキに一つの出会いによって人生が変わっていく。筆文字という一つの言葉それがきっかけで自分自身の人生が変わり、一人が変わることにより家族が変わり、近所の方々が変わり、職場が変わり、ということで多くの人達の環境が変わっています。よく受講される方に先生が多いんですが、小学校・中学校・高校そして幼稚園・保育園の先生、そして介護の方いろんな方がいらっしゃいます。そういう方々が受けられる事によりご自分と周りの方々との接し方が変わったんです。

字が下手で手紙や年賀状すら書いてなかった私が自分の思いで手紙を書き始めると、たくさんの方が喜んでくれてそして私の筆文字の小冊子やハガキが一人歩きしまして、全国から筆文字を教えて欲しいというオファーが来るようになり、今全国をまわらせて頂いています。

身近に出来ること。お習字と違い手軽に出来、お金もかからずいつでもどこでも出来るという一つの手段として、筆文字というか言葉がすばらしい人生の一つのきっかけになったらいいなどの思いを講座を通して伝えさせて頂いております。こちらの方では大東を中心に月 1、2 回、そしてまたいろんな地域でさせて頂いております。そして、今筆文字マーケティングセミナーという事で筆文字を使ってお客様への挨拶状やいろんなものに使われる一つのツールとして、どのような活用をしたらいいかという講座もさせて頂いております。またカレンダーなど出したりしておりますのでご興味のある方いらっしゃいましたら、お声をかけて頂けたらと思います。今日はどうもありがとうございます。

